平成 17 年 8 月 30 日

ＳＴ－４０３Ｃ　Ｑ＆Ａ（全般）

簡易型電文設定器ＳＴ－４０３Ｃについて、想定される事象と対応をＱ＆Ａにまとめてみました。
対象設定器：ＳＴ－４０３Ｃ
対象モード：全モード
対象メータ：マイコンメータ全機種

Ｑ１　全てのメータメーカのマイコンメータに使用できますか。

Ａ１　簡易型電文設定器は日本ガスメーター工業会が発行するインターフェース仕様書に基づき製作しています。メータメーカが独自に保有する機能については設定できません。
また、メータメーカ間で意味付けが異なる部分については、読み替えによって極力整合を取っていますが、一部に対応が取れてない部分があります。詳しくは、
http://www.toyogasmeter.co.jp/setteiki/code1_isyoku.pdf をご参照ください。

Ｑ２　乾電池の寿命はどれくらいか。

Ａ２　簡易型電文設定器の消費電流はわずかです。通常のご使用で約３年です。
設定器をご使用になられなくても回路に微少電流を流しています。長期間ご使用になられなくても乾電池が液漏れしコントローラを破損させる恐れがありますので、電池電圧低下表示をしなくても３年で交換することをお奨めします。

Ｑ３　ＳＴ－４０３Ｃで省略された機能はありますか。

Ａ３　圧力状態の mmH2O 表示をなくしました。
計量法の改正により、平成 11 年 10 月 1 日以降、圧力単位 mmH2O での取引き又は証明行為が禁止されています。この設定器は、圧力単位 mmH2O の機能のみ有するマイコンメータの圧力値を kPa に変換して表示する機能があります。
（注記）
従来の圧力単位切替えスイッチは、モード３の標準モードとアドバンスドモードの切替えスイッチに変更されています。（取扱説明書 P.27 参照）

Ｑ４　ON/START キーを長く押したら表示が消え、電源オフになった。

Ａ４　ＳＴ－４０３Ｃでは、使用中にモード変更を行う機会が増えましたので、通信中以外のときに ON/START キーを３秒以上押すとマニュアルパワーオフする機能を追加しました。通信を行うときは、ON/START キーを３秒以内に離してください。従来どおり項目コード０のときに▽キーを３秒以上押してもマニュアルパワーオフします。（取扱説明書の P.7 参照）

Ｑ５　電池電圧低下表示をしたが、５秒後に通常の表示になった。

Ａ５　従来の簡易型電文設定器は、失敗『Ｌ』点滅した場合は１０秒後にパワーオフし、新しい乾電池に交換しないと使用できませんでしたが、ＳＴ－４０３Ｃは電池電圧低下表示を２段警報にし、電池電圧低下表示の『Ｌ』点滅が表示しても、５秒後に通常の表示になるように変更しました。失敗『Ｌ』点滅した場合は、１０秒後にパワーオフします。『Ｌ』点滅表示した場合は、速やかに乾電池の交換をしてください。（取扱説明書 P.7 参照）

Ｑ６　新しい乾電池に交換したら、意味不明の表示や通信が正常に行わなくなった。

Ａ６　衝撃等による電源の瞬断を防止するためのコンデンサが入っています。乾電池を交換するときにコンデンサに残った電流によりマイコンが暴走することがあります。乾電池を外して１０秒以上経過後に再度乾電池を入れてください。

Ｑ７　乾電池についての適合性はありますか。

Ａ７　各種の乾電池の特性を調査しています。オキシライド乾電池や充電式乾電池は、乾電池の特性上簡易型電文設定器にはお奨めできません。単４形アルカリ乾電池をご使用ください。
最も経済的にご使用できる乾電池は、１００円ショップの４本１００円で販売しているアルカリ乾電池です。（商品の回転が早く、かつ、近年性能が向上しています。）

Ｑ８　エラーコードの意味付けを教えてください。

Ａ８　下表のようになっています。（全簡易型電文設定器共通）

エラーコード	意味付けと主な挙動
Ｅ－０	設定器のソフトによる制限です。 機種や設定内容によって、ありえない設定や確認通信と分かっている場合や、設定優先順位の低い設定を行った場合は、設定器は次の通信に進みません。
Ｅ－１	未定義（定義されていない通信電文）応答の場合です。 設定器からメータに通信を行ったときに、未定義応答が返ってきた場合に表示します。
Ｅ－２	設定通信を行った後、設定内容と一致しなかった場合です。 製造時期やメーカによって対応していない機能や、メータの状態（警報器未接続、遮断中、設定優先順位など）によって設定できない場合があります。
Ｅ－３	メータとの通信が無応答や通信異常の場合です。 通信線の接続間違い、メータ発呼との衝突、通信線の断線、メータの仕様によることが考えられます。
Ｅ－４	口火登録有り（ＳＴ－４０３Ｃ　モード２のみ） 口火登録有りに設定してあるために設定できない項目の設定や、口火登録有りが設定されていた場合です。

Ｑ９　項目コードを変更したり、通信エラー後に ON/START キーを押すと、データ部に「４０３Ｃ－２」や「４０３Ｃ－３」の表示が出る。

Ａ９　ＳＴ－４０３Ｃでは、３モードになりました。どのモードで設定や確認を行っているのかが分かりやすいように、モード２では「４０３Ｃ－２」、モード３では「４０３Ｃ－３」と、型式名とモードを表示するようにしました。
モード２及び３で通信エラーになったときは、ON/START キーを押すと、前の状態に戻るだけで、通信は行いません。再度 ON/START キーを押すと通信を行います。

Q10　取扱説明書を紛失しました。どうしたら入手できますか。

A10　ご購入会社経由で請求してくか、P.3 の問合せ先にメールでご請求ください。
ＳＴ－３０２Ｃ、ＳＴ－４０２Ｃ、ＳＴ－４０３Ｃの取扱説明書については在庫がありますが、それ以前の機種については、在庫がない場合があります。

Q11　簡易型電文設定器の種類が多くて困ります。１型式に統合できないか。

A11　ＳＴ－４０３Ｃは、ＳＴ－３０２ＣとＳＴ－４０２Ｃの機能を統合し、さらにモード３にメータ制御コード値及び残量管理機能の移植を追加しました。
将来発売が予想される、電子式マイコンメータとの整合については、確認が取れ次第このサイトで公開いたします。

この資料についての問合せ先

E-mail ： toyogas@toyogasmeter.co.jp

・必ず会社名・お名前を書いてください。また、一般消費者及びフリーメールアドレスには回答いたしません。

・取得したメールアドレスは、回答以外には使用しません。